

2025年邦人被害概況

1 被害の特徴

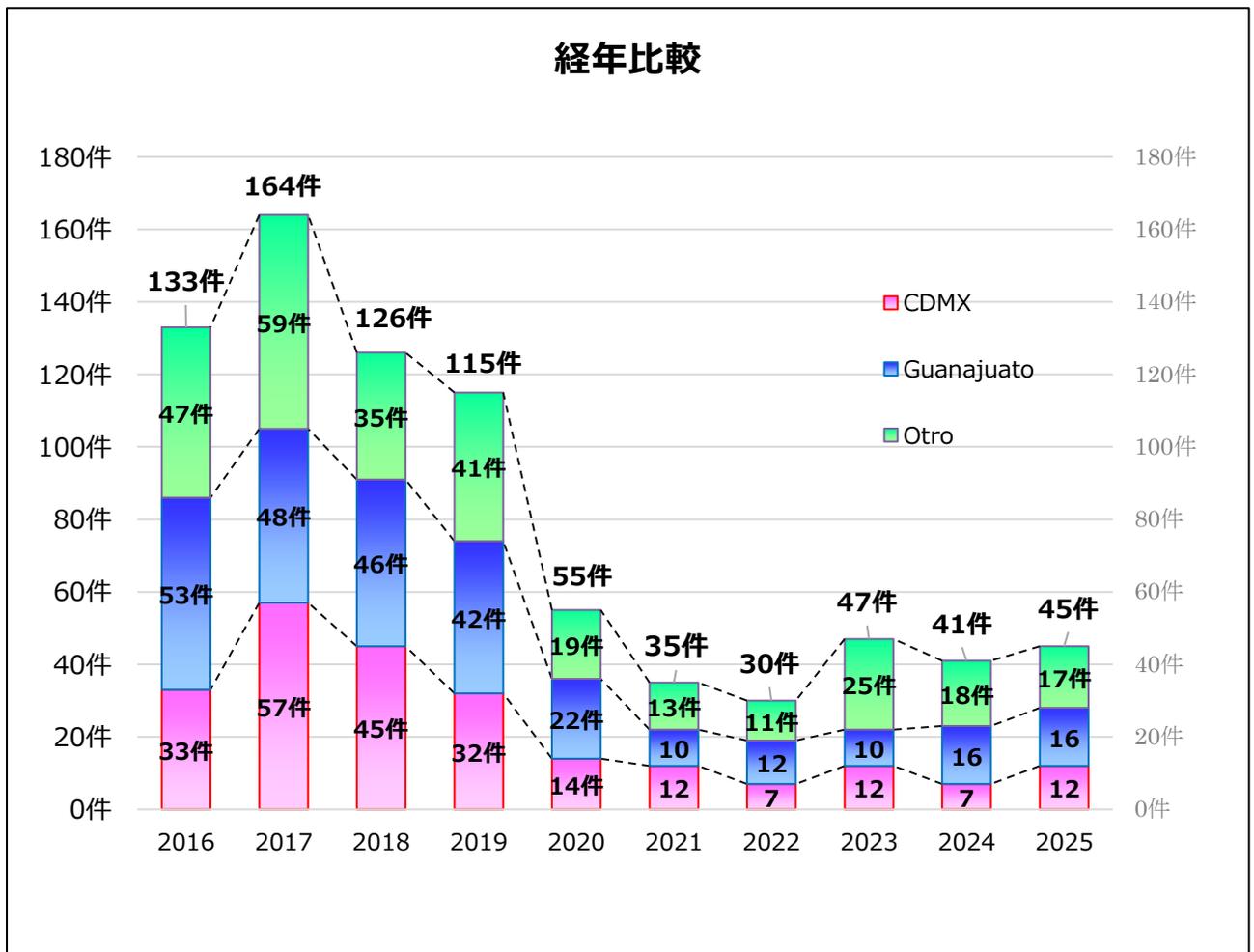
(1) 全体的特徴

ア 2025年中に、在メキシコ日本国大使館及び在レオン日本国総領事館に届けられた邦人の犯罪被害件数は45件であった。下記経年比較のグラフのとおり、2017年の164件以降減少傾向にある。

イ 罪種別では、最も多かった被害は強盗被害の13件で、被害全体の約29%を占める。また、車上ねらい被害も昨年に引き続き多く9件あり、引き続き十分な注意が必要である。

特に懸念すべき事案は、グアナファト州からケタラロ州にかかる高速道路45Dにおける車両強盗であり、昼夜、国籍等を問わず多くの被害が報告されている。

ウ 発生地域別では、メキシコ市が12件（前年比5件増）、グアナファト州が16件（前年同）で、これらで発生の6割以上を占めている。



(2) 地域別特徴・傾向

ア メキシコ市

(ア) メキシコ市における12件の被害の内訳は、窃盗7件、暴行・恐喝4件、不同意わいせつ1件であった。

(イ) 窃盗被害は、飲食店に対する車上ねらい、すり、ひったくり、置引き等、多岐に渡り発生が見られた。

(ウ) 特徴的な手口は、人が多い大通りにおいて、見知らぬ人物から「服にケチャップがついている」等と

声を掛けられて、気を取られているうちに貴重品を盗られるいわゆるケチャップ詐欺の発生が未遂ではあるが見られた。

イ グアナファト州

(ア) グアナファト州における被害は16件で、被害の内訳は、窃盗9件、強盗7件であった。

(イ) 窃盗被害は、車上ねらいが6件で、その多数が人通りの少ない場所・時間帯に路上駐車をし、短時間その場を離れている際に発生した。

(ウ) 強盗被害は、グアナファト州からケレタロ州にかかる高速道路45Dで多発し、拳銃等で脅されて車両の停止を求められ、貴重品を奪われるケースや車両ごと連れ去られて人気のないところで貴重品を奪われた上で、車両から降ろされる事案の発生もあった。

ウ その他の地域

キンタナ・ロー州の6件、オアハカ州の3件、ケレタロ州の2件、アグアスカリエンテ州の2件等となっており、観光地を中心に全国的に邦人の被害が報告されている。

2 被害の内訳等

(1) 届出件数

45件（前年比+4）

本集計は当館に届け出があった件数であり、昨年に比べ届出件数は減少している。しかし、大使館に届け出をしていないケースもあり、実際の被害件数はこれより多いと思われる。

(2) 犯罪手口

	2025年	2024年	2023年	2022年	2021年
窃盗	26件	25件	19件	15件	16件
※うち、車上ねらい	9件	14件	5件	8件	7件
置引き	5件	0件	2件	0件	2件
すり	4件	3件	6件	5件	3件
空き巣等侵入盗	2件	2件	2件	1件	2件
その他窃盗	3件	4件	4件	1件	0件
強盗	13件	10件	19件	10件	13件
詐欺	1件	2件	3件	3件	2件
殺人	0件	0件	0件	0件	1件
暴行・傷害（発砲を含む）	3件	1件	0件	1件	0件
脅迫・恐喝	1件	3件	4件	1件	2件
その他（カード不正利用等）	0件	0件	2件	0件	1件

強盗被害の13件中、このうちけん銃等凶器を使用したケースは11件であった。

被害発生時間帯別では午前中（午前7時から午後0時）2件、午後（午後0時から午後6時）が4件、日没後（午後6時から午後10時）3件、深夜帯（午後10時から午前7時）が4件、であり、昼夜問わず発生している。犯人に抵抗すると生命にかかわる危険な状況となる可能性が高いため、決して抵抗してはならない。

強盗の手口としては、高速道路上における自動車運転中の被害が多く、また駐車場や路上での被害も多く発生していることから、移動時には十分に注意する必要がある。

(3) 発生場所別

運転中	7件
路上	6件

(4) 被害者別（複数被害者がいる場合もあるため、被害件数とは一致しない。）

長期滞在・永住者	35名（+1）	男性：27名（±0）、女性：8名（+1）
短期出張者	8名（+5）	男性：6名（+4）、女性2名（+1）
短期渡航者（観光）	12名（+4）	男性：3名（+1）、女性：9名（+7）

被害の詳細については、「[邦人被害一覧（2025年）](#)」をご参照ください。（被害者から許可を得たもののみ掲載）